

(様式第 9)

香大医患第 0  
平成 24 年 1 C

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立大学法人  
長尾 省吾

香川大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 23 年度の業務  
に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

|        |      |
|--------|------|
| 研修医の人数 | 85 人 |
|--------|------|

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照(様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

| 職 種       | 常 勤  | 非常勤  | 合 計    | 職 種           | 員 数 | 職 種                   | 員 数  |
|-----------|------|------|--------|---------------|-----|-----------------------|------|
| 医 師       | 208人 | 114人 | 291.6人 | 看 護 補 助 者     | 37人 | 診 療 エ ッ ク ス 線 技 師     | 0人   |
| 歯 科 医 師   | 5人   | 8人   | 11.6人  | 理 学 療 法 士     | 8人  | 臨 床 検 査 技 師           | 33人  |
| 薬 剤 師     | 23人  | 3人   | 26.0人  | 作 業 療 法 士     | 4人  | 衛 生 検 査 技 師           | 0人   |
| 保 健 師     | 0人   | 0人   | 0人     | 視 能 訓 練 士     | 6人  | そ の 他                 | 0人   |
| 助 産 師     | 36人  | 0人   | 36.0人  | 義 肢 装 具 士     | 0人  | あ ん 摩 マ ッ サ ー ジ 指 圧 師 | 0人   |
| 看 護 師     | 502人 | 36人  | 516.9人 | 臨 床 工 学 技 士   | 9人  | 医 療 社 会 事 業 従 事 者     | 0人   |
| 准 看 護 師   | 0人   | 0人   | 0人     | 栄 養 士         | 0人  | そ の 他 の 技 術 員         | 5人   |
| 歯 科 衛 生 士 | 2人   | 0人   | 2.0人   | 歯 科 技 工 士     | 1人  | 事 務 職 員               | 103人 |
| 管理栄養士     | 6人   | 4人   | 10.0人  | 診 療 放 射 線 技 師 | 28人 | そ の 他 の 職 員           | 19人  |

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数  
歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

|              | 歯科等以外  | 歯科等   | 合 計    |
|--------------|--------|-------|--------|
| 1日当たり平均入院患者数 | 454.6人 | 7.4人  | 462.0人 |
| 1日当たり平均外来患者数 | 887.3人 | 43.3人 | 930.6人 |
| 1日当たり平均調剤数   |        |       | 607.7剤 |

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

### 高度の医療の提供の実績

#### 1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

| 先進医療の種類               | 取扱患者数 |
|-----------------------|-------|
| 抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子検査 | 17人   |
| 超音波骨折治療法              | 0人    |
| インプラント義歯              | 3人    |
| 内視鏡的大腸粘膜下層剥離術         | 24人   |
|                       | 人     |
|                       | 人     |
|                       | 人     |
|                       | 人     |
|                       | 人     |
|                       | 人     |
|                       | 人     |
|                       | 人     |
|                       | 人     |
|                       | 人     |
|                       | 人     |
|                       | 人     |
|                       | 人     |
|                       | 人     |
|                       | 人     |
|                       | 人     |
|                       | 人     |
|                       | 人     |
|                       | 人     |

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

| 先進医療の種類 | 取扱患者数 |
|---------|-------|
|         | 人     |
|         | 人     |
|         | 人     |
|         | 人     |
|         | 人     |
|         | 人     |
|         | 人     |
|         | 人     |
|         | 人     |
|         | 人     |
|         | 人     |
|         | 人     |
|         | 人     |
|         | 人     |
|         | 人     |
|         | 人     |
|         | 人     |
|         | 人     |
|         | 人     |
|         | 人     |

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第二百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

## 3 その他の高度の医療

|   |                                 |       |     |
|---|---------------------------------|-------|-----|
| 医療技術名   | 自己免疫性血球減少症に対するリツキシマブ投与          | 取扱患者数 | 1人  |
| 当該医療技術の概要<br>自己免疫性血球減少症の難治例の予後改善を目的とする。自己免疫性血球減少症は生命予後に大きく関わる病態であること、ステロイド剤が減量困難なことにより引き起こされる感染症等の合併症もまた長期予後を規定するものであることより本治療による病態の改善は有用性が高いと考えられる。 |                                 |       |     |
| 医療技術名   | 顆粒球輸注                           | 取扱患者数 | 3人  |
| 当該医療技術の概要<br>移植前に重症感染症を併発した症例を対象にプロトコールを作成し高度先進医療として実施している。   |                                 |       |     |
| 医療技術名   | Cushing病に対する海綿静脈洞サンプリング         | 取扱患者数 | 2人  |
| 当該医療技術の概要<br>Cushing病(特定疾患)患者の原因病巣が下垂体であることの確認として、海綿静脈洞より採血(サンプリング)し末梢とのACTH濃度勾配をみる。脳神経外科、放射線科と協力して行っている。   |                                 |       |     |
| 医療技術名   | 原発性アルドステロン症に対するACTH負荷副腎静脈サンプリング | 取扱患者数 | 4人  |
| 当該医療技術の概要<br>原発性アルドステロン症の局在診断のため、左右の副腎静脈より採血(サンプリング)を行う。放射線科と協力して行っている。   |                                 |       |     |
| 医療技術名   | 先端巨大症に対するオクトレオチド投与              | 取扱患者数 | 8人  |
| 当該医療技術の概要<br>先端巨大症(特定疾患)に対し脳神経外科にて経蝶形骨洞下垂体腫瘍摘出術後に十分なGH低下が見られない症例に対し、オクトレオチド皮下注射による治療を行う。  |                                 |       |     |
| 医療技術名   | 15O-H <sub>2</sub> O 心臓PET検査    | 取扱患者数 | 10人 |
| 当該医療技術の概要<br>左心筋血流量を定量評価し、心筋虚血重症度診断を行うもの  |                                 |       |     |
| 医療技術名   | 18F-FDG PET検査                   | 取扱患者数 | 35人 |
| 当該医療技術の概要<br>心サルコイドーシスにおける、心筋炎症の評価を行うもの   |                                 |       |     |
| 医療技術名   | 大動脈内バルーンパンピング法                  | 取扱患者数 | 7人  |
| 当該医療技術の概要<br>低左心機能症例に対して左室補助を行うもの   |                                 |       |     |

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

|   |                             |       |     |
|---|-----------------------------|-------|-----|
| 医療技術名   | 経皮的心肺補助                     | 取扱患者数 | 13人 |
| 当該医療技術の概要<br>低左心機能症例、致死性不整脈、肺循環器障害症例に対して心肺補助を行うもの               |                             |       |     |
| 医療技術名   | 腹腔鏡補助下胃全層切除術(EFTR)          | 取扱患者数 | 6人  |
| 当該医療技術の概要<br>胃内発育型間葉系腫瘍に対して、軟性内視鏡による胃全層切除にて臓器温存を目指した最小限の局所切除を行う |                             |       |     |
| 医療技術名   | 大腸内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)          | 取扱患者数 | 34人 |
| 当該医療技術の概要<br>大腸腫瘍に対して、ESDによる一括根治切除を行う                           |                             |       |     |
| 医療技術名   | 肝癌合併腎障害患者に対する炭酸ガス併用抗ガン剤注入療法 | 取扱患者数 | 4人  |
| 当該医療技術の概要<br>造影剤を使用できない腎障害患者の肝癌治療を炭酸ガスを用いて行う                    |                             |       |     |
| 医療技術名   | 感染性膵壊死に対する内視鏡的ネクロセクトミー      | 取扱患者数 | 2人  |
| 当該医療技術の概要<br>感染のコントロールがつかない膵壊死に対して内視鏡的に壊死物質を取り除く                |                             |       |     |
| 医療技術名   | 術後腸管に対するダブルバルン内視鏡を用いたERCP   | 取扱患者数 | 10人 |
| 当該医療技術の概要<br>術後腸管のため通常ERCPが困難な症例に対してダブルバルン内視鏡を用いてERCPを施行する      |                             |       |     |
| 医療技術名   | 起立負荷後のAVP反応を用いた自律神経障害の評価    | 取扱患者数 | 10人 |
| 当該医療技術の概要<br>起立負荷時のAVPの反応性を基に、中枢性自律神経障害の鑑別を行っている。               |                             |       |     |
| 医療技術名   | ファブリー病の酵素補充療法               | 取扱患者数 | 1人  |
| 当該医療技術の概要<br>心ファブリー病に対して、2週間毎に点滴による酵素補充をおこない、心不全予防をおこなっている。     |                             |       |     |

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

## 3 その他の高度の医療

|  |                                      |       |     |
|--|--------------------------------------|-------|-----|
| 医療技術名  | 皮膚悪性腫瘍の色素法、RI法併用によるセンチネルリンパ節生検       | 取扱患者数 | 3人  |
| 当該医療技術の概要<br>色素法とRI法を併用してセンチネルをみつけ、切除する。   |                                      |       |     |
| 医療技術名  | 皮膚悪性腫瘍の集学的治療                         | 取扱患者数 | 10人 |
| 当該医療技術の概要<br>皮膚悪性腫瘍の手術、化学療法、放射線治療、緩和ケアなどによる治療。   |                                      |       |     |
| 医療技術名  | 悪性黒色腫の5S-CD値によるフォロー                  | 取扱患者数 | 10人 |
| 当該医療技術の概要<br>腫瘍マーカーである5-S-CD値を定期的に測定し、経過フォローに役立てる。                                       |                                      |       |     |
| 医療技術名  | 乾癬患者に対する生物学的製剤(抗TNF- $\alpha$ )による治療 | 取扱患者数 | 11人 |
| 当該医療技術の概要<br>乾癬患者に対し、生物学製剤を用いて治療を行う  |                                      |       |     |
| 医療技術名  | 新しい光源による新生児高ビリルビン血症に対する光療法           | 取扱患者数 | 30人 |
| 当該医療技術の概要<br>LED光源を用いた、ビリルビンを体外排出型に構造変化させる新しい新生児高ビリルビン血症に対する、より効果的な光療法を行う。               |                                      |       |     |
| 医療技術名  | ビリルビンの精密解析                           | 取扱患者数 | 30人 |
| 当該医療技術の概要<br>ビリルビンの光異性体、抱合体を高速液体クロマトグラフィーを用いて高精度分析し、新生児高ビリルビン血症の病因、治療効果判定に用いる。           |                                      |       |     |
| 医療技術名  | 光学的非侵襲的脳代謝・循環の測定                     | 取扱患者数 | 20人 |
| 当該医療技術の概要<br>神経学的後遺症の軽減を目的とした、近赤外分光測定法を用いて、新生児の脳循環、代謝を評価。                                |                                      |       |     |
| 医療技術名  | 新生児溶血性黄疸に対するガンマグロブリン療法               | 取扱患者数 | 3人  |
| 当該医療技術の概要<br>高度新生児黄疸の原因となる溶血性黄疸を、非侵襲的に光を利用した黄疸計で早期に発見し、光療法と共にガンマグロブリン療法を行い、交換輸血を回避させる治療。 |                                      |       |     |

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

|   |                        |       |     |
|---|------------------------|-------|-----|
| 医療技術名   | 脳分離循環を伴う胸部大動脈瘤手術       | 取扱患者数 | 6人  |
| 当該医療技術の概要<br>脳分離循環を伴う胸部大動脈瘤手術                                 |                        |       |     |
| 医療技術名   | 末期的心臓病に対する外科手術         | 取扱患者数 | 6人  |
| 当該医療技術の概要<br>人工心臓・心臓移植の適応を考慮する末期的心臓病患者に対する僧帽弁手術・左室形成術         |                        |       |     |
| 医療技術名   | 肝切除手術における画像ナビゲーション     | 取扱患者数 | 10人 |
| 当該医療技術の概要<br>画像支援ナビゲーションシステム(VINSENT)により、肝切除における安全性の向上を図っている。 |                        |       |     |
| 医療技術名   | Hybrid- NOTESによる胃局所切除  | 取扱患者数 | 9人  |
| 当該医療技術の概要<br>内科Dr.と共同で、軟性内視鏡+腹腔鏡を用いた新しい低侵襲手術を行っている。           |                        |       |     |
| 医療技術名   | 乳房再建を伴う乳癌手術            | 取扱患者数 | 5人  |
| 当該医療技術の概要<br>形成外科と協力し、乳房再建を伴う乳癌手術を行う。                         |                        |       |     |
| 医療技術名   | 気管・気管支形成を伴う肺手術         | 取扱患者数 | 3人  |
| 当該医療技術の概要<br>肺悪性腫瘍に対し、気管・気管支形成術を伴う肺手術を行う                      |                        |       |     |
| 医療技術名   | 肺癌患者に対する遺伝子解析に基づいた化学療法 | 取扱患者数 | 20人 |
| 当該医療技術の概要<br>肺癌に対し、遺伝子解析を行い、これに基づいた化学療法を行う。                   |                        |       |     |
| 医療技術名   | 悪性胸膜中皮種に対する胸膜肺全摘術      | 取扱患者数 | 0人  |
| 当該医療技術の概要<br>悪性胸膜中皮種に対し胸膜肺全摘術を行う                              |                        |       |     |

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

## 3 その他の高度の医療

|  |                          |       |     |
|--|--------------------------|-------|-----|
| 医療技術名  | 赤外線胸腔鏡による気腫化病変の切除および区域切除 | 取扱患者数 | 3人  |
| 当該医療技術の概要<br>赤外線胸腔鏡を使用し、肺の気腫化病変や肺区域の同定を行っている |                          |       |     |
| 医療技術名  | 関節リウマチに対する手術的治療          | 取扱患者数 | 18人 |
| 当該医療技術の概要<br>関節リウマチに対する手術的治療                 |                          |       |     |
| 医療技術名  | 悪性骨軟部腫瘍に対する患肢温存手術        | 取扱患者数 | 12人 |
| 当該医療技術の概要<br>悪性骨軟部腫瘍に対する患肢温存手術               |                          |       |     |
| 医療技術名  | 大腿骨頭壊死症の手術療法             | 取扱患者数 | 3人  |
| 当該医療技術の概要<br>大腿骨頭壊死症の手術療法                    |                          |       |     |
| 医療技術名  | 皮膚、筋、骨など血管付多臓器移植術        | 取扱患者数 | 2人  |
| 当該医療技術の概要<br>皮膚、筋、骨など血管付多臓器移植術               |                          |       |     |
| 医療技術名  | 人工股関節術後の高度骨欠損に対する再置換術    | 取扱患者数 | 2人  |
| 当該医療技術の概要<br>人工股関節術後の高度骨欠損に対する再置換術           |                          |       |     |
| 医療技術名  | 顔面神経麻痺形成手術               | 取扱患者数 | 1人  |
| 当該医療技術の概要<br>顔面神経麻痺に対するネットワーク型神経移植           |                          |       |     |
| 医療技術名  | 遊離皮弁術、自家遊離組織移植術          | 取扱患者数 | 20人 |
| 当該医療技術の概要<br>顕微鏡下血管吻合を用いた組織移植術               |                          |       |     |

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。



## 高度の医療の提供の実績

## 3 その他の高度の医療

|   |                                  |       |     |
|---|----------------------------------|-------|-----|
| 医療技術名   | 顔面多発骨折観血的手術                      | 取扱患者数 | 5人  |
| 当該医療技術の概要<br>顔面多発骨折に対する観血的整復固定術   |                                  |       |     |
| 医療技術名   | 遠位血行再建術                          | 取扱患者数 | 8人  |
| 当該医療技術の概要<br>膝下以下の虚血肢に対するバイパス手術   |                                  |       |     |
| 医療技術名   | 多血小板血漿療法                         | 取扱患者数 | 18人 |
| 当該医療技術の概要<br>難治性潰瘍に対する多血小板血漿を用いた治療  |                                  |       |     |
| 医療技術名   | 陰圧閉鎖療法                           | 取扱患者数 | 6人  |
| 当該医療技術の概要<br>組織欠損部、難治性潰瘍に対する陰圧閉鎖療法  |                                  |       |     |
| 医療技術名   | 陰茎海綿体神経再生による勃起能回復を目的とした神経移植術     | 取扱患者数 | 5人  |
| 当該医療技術の概要<br>前立腺癌の手術療法のかな副作用の1つに勃起不全があり、QOLを損なう原因となる。その対策として、腓腹神経の自家移植を行い、勃起機能の回復を図る。 |                                  |       |     |
| 医療技術名   | 悪性脳腫瘍患者に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子検査 | 取扱患者数 | 17人 |
| 当該医療技術の概要<br>悪性脳腫瘍患者に対する抗悪性腫瘍剤耐性遺伝子を検索することにより、個々の患者に効果のある、さらに副作用の軽減を目的とした治療である。       |                                  |       |     |
| 医療技術名   | 重症脳卒中および重症頭部外傷患者に対する脳低温療法        | 取扱患者数 | 15人 |
| 当該医療技術の概要<br>重症脳卒中および重症頭部外傷患者に対して、脳保護を目的とした脳低温治療。                                     |                                  |       |     |
| 医療技術名   | 脳神経外科手術に対する術中ナビゲーション             | 取扱患者数 | 63人 |
| 当該医療技術の概要<br>手術において術中ナビゲーションを用いることで、摘出部位や残存腫瘍が把握でき、さらに電気刺激部位の確認による機能温存を考慮した治療法である。    |                                  |       |     |

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

## 3 その他の高度の医療

|  |                                 |       |        |
|--|---------------------------------|-------|--------|
| 医療技術名  | 覚醒下開頭腫瘍摘出手術                     | 取扱患者数 | 3人     |
| 当該医療技術の概要<br>言語野に近い部位に脳腫瘍がある患者において、手術中に麻酔を覚醒させて脳を電気刺激することで実際の言語野を同定させることで、より安全確実な手術ができる。         |                                 |       |        |
| 医療技術名  | 脳動脈瘤に対するステントを併用したコイル塞栓術         | 取扱患者数 | 7人     |
| 当該医療技術の概要<br>脳動脈瘤の中で、サイズの大きなものや頸部が広いものはコイルのみでの塞栓術は困難であり、ステントを併用することでより確実なコイル塞栓を行うことが出来る。         |                                 |       |        |
| 医療技術名  | 増殖硝子体網膜症手術                      | 取扱患者数 | 46人    |
| 当該医療技術の概要<br>増殖硝子体細胞症に対して、高度な手術技術を要する手術である。  |                                 |       |        |
| 医療技術名  | 人工内耳                            | 取扱患者数 | 4人     |
| 当該医療技術の概要<br>高度難聴症例(成人・小児)の聴覚言語獲得および使用のため、人工内耳埋込術を施行し、術後、言語のリハビリを行っている。                          |                                 |       |        |
| 医療技術名  | 肝癌に対する肝動脈塞栓療法                   | 取扱患者数 | 114人   |
| 当該医療技術の概要<br>肝癌に対してカテーテルを利用して肝動脈塞栓手術を行う  |                                 |       |        |
| 医療技術名  | 肝・骨盤部悪性腫瘍に対するリザーバー設置術           | 取扱患者数 | 16人    |
| 当該医療技術の概要<br>肝・骨盤部悪性腫瘍に対するリザーバー設置術   |                                 |       |        |
| 医療技術名  | 高進ヘリカルCTによる3次元画像                | 取扱患者数 | 1,262人 |
| 当該医療技術の概要<br>高進ヘリカルCTによる3次元画像  |                                 |       |        |
| 医療技術名  | 院外心肺停止患者に対する遠心ポンプを使用した循環補助による蘇生 | 取扱患者数 | 0人     |
| 当該医療技術の概要<br>院外心肺停止患者に対する高度な二次救命処置の最終手段として遠心ポンプを使用した循環補助を行い、これに低体温療法および経皮的冠動脈形成術を組み合わせることで蘇生を行う。 |                                 |       |        |

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 3 その他の高度の医療

|  |                     |       |      |
|--|---------------------|-------|------|
| 医療技術名  | 低体温療法               | 取扱患者数 | 11人  |
| 当該医療技術の概要<br>心肺停止後脳障害、重症頭部外傷、重症くも膜下出血、等の患者の二次性脳障害を軽減するために24-72時間34-35℃で体温管理を行う。                      |                     |       |      |
| 医療技術名  | 口腔癌における再建手術         | 取扱患者数 | 2人   |
| 当該医療技術の概要<br>口腔癌における再建手術   |                     |       |      |
| 医療技術名  | 口腔癌における超選択的動注化学療法   | 取扱患者数 | 5人   |
| 当該医療技術の概要<br>口腔癌における超選択的動注化学療法   |                     |       |      |
| 医療技術名  | 歯の欠損に対する口腔インプラント治療  | 取扱患者数 | 14人  |
| 当該医療技術の概要<br>歯の欠損に対する口腔インプラント治療  |                     |       |      |
| 医療技術名  | 内視鏡下唾石摘出術           | 取扱患者数 | 5人   |
| 当該医療技術の概要<br>内視鏡下唾石摘出術   |                     |       |      |
| 医療技術名  | 内視鏡下歯根端切除術          | 取扱患者数 | 15人  |
| 当該医療技術の概要<br>内視鏡下歯根端切除術  |                     |       |      |
| 医療技術名  | 多発性内分泌腺腫症 I 型の遺伝子診断 | 取扱患者数 | 3人   |
| 当該医療技術の概要<br>常染色体優性の遺伝性疾患であるMEN I 型の確定診断として原因遺伝子meninのコーディングリージョンのdirect-sequenceによる塩基決定で遺伝子異常を同定した。 |                     |       |      |
| 医療技術名  | 免疫抗体によるHE2染色        | 取扱患者数 | 108人 |
| 当該医療技術の概要<br>転移性乳癌や乳癌術後及び進行・再発胃がんの補助化学療法   |                     |       |      |

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 3 その他の高度の医療

|  |                              |       |     |
|--|------------------------------|-------|-----|
| 医療技術名  | EBER in situ hibridization検査 | 取扱患者数 | 17人 |
| 当該医療技術の概要<br>バーキットリンパ腫・上咽頭癌・ホジキンリンパ腫・T/NKリンパ腫移植後リンパ増殖異常の感染証明 |                              |       |     |
| 医療技術名  | セカンドオピニオン                    | 取扱患者数 | 88人 |
| 当該医療技術の概要<br>前立腺がん等の組織学的検査のセカンドオピニオン                         |                              |       |     |
| 医療技術名  | 免疫抗体によるALK染色                 | 取扱患者数 | 3人  |
| 当該医療技術の概要<br>非扁平上皮癌の治療に有効な分子標的治療薬適用のため                       |                              |       |     |
| 医療技術名  |                              | 取扱患者数 | 人   |
| 当該医療技術の概要  |                              |       |     |
| 医療技術名  |                              | 取扱患者数 | 人   |
| 当該医療技術の概要  |                              |       |     |
| 医療技術名  |                              | 取扱患者数 | 人   |
| 当該医療技術の概要  |                              |       |     |
| 医療技術名  |                              | 取扱患者数 | 人   |
| 当該医療技術の概要  |                              |       |     |
| 医療技術名  |                              | 取扱患者数 | 人   |
| 当該医療技術の概要  |                              |       |     |

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

| 疾患名  | 取扱患者数 | 疾患名   | 取扱患者数 |
|--|-------|---|-------|
| ・ベーチェット病                                       | 40人   | ・膿疱性乾癬  | 6人    |
| ・多発性硬化症  | 59人   | ・広範脊柱管狭窄症   | 2人    |
| ・重症筋無力症  | 64人   | ・原発性胆汁性肝硬変  | 60人   |
| ・全身性エリテマトーデス                                   | 106人  | ・重症急性膵炎   | 4人    |
| ・スモン   | 1人    | ・特発性大腿骨頭壊死症   | 17人   |
| ・再生不良性貧血                                       | 20人   | ・混合性結合組織病   | 22人   |
| ・サルコイドーシス                                      | 31人   | ・原発性免疫不全症候群   | 1人    |
| ・筋萎縮性側索硬化症                                     | 15人   | ・特発性間質性肺炎   | 3人    |
| ・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎                               | 126人  | ・網膜色素変性症  | 15人   |
| ・特発性血小板減少性紫斑病                                  | 46人   | ・プリオン病  | 1人    |
| ・結節性動脈周囲炎                                      | 29人   | ・肺動脈性肺高血圧症  | 3人    |
| ・潰瘍性大腸炎  | 67人   | ・神経線維腫症   | 15人   |
| ・大動脈炎症候群                                       | 19人   | ・亜急性硬化性全脳炎  | 0人    |
| ・ビュルガー病  | 6人    | ・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群  | 1人    |
| ・天疱瘡   | 14人   | ・慢性血栓塞栓性肺高血圧症   | 4人    |
| ・脊髄小脳変性症                                       | 32人   | ・ライソゾーム病  | 4人    |
| ・クローン病   | 31人   | ・副腎白質ジストロフィー  | 0人    |
| ・難治性の肝炎のうち劇症肝炎                                 | 2人    | ・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)   | 0人    |
| ・悪性関節リウマチ                                      | 17人   | ・脊髄性筋萎縮症  | 0人    |
| ・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、<br>大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病) | 132人  | ・球脊髄性筋萎縮症   | 0人    |
| ・アミロイドーシス                                      | 4人    | ・慢性炎症性脱髄性多発神経炎  | 15人   |
| ・後縦靭帯骨化症                                       | 31人   | ・肥大型心筋症   | 3人    |
| ・ハンチントン病                                       | 5人    | ・拘束型心筋症   | 0人    |
| ・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)                             | 25人   | ・ミトコンドリア病   | 2人    |
| ・ウェゲナー肉芽腫症                                     | 9人    | ・リンパ脈管筋腫症(LAM)  | 1人    |
| ・特発性拡張型(うっ血型)心筋症                               | 24人   | ・重症多形滲出性紅斑(急性期)   | 0人    |
| ・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋<br>小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)  | 28人   | ・黄色靭帯骨化症  | 5人    |
| ・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)                            | 2人    | ・間脳下垂体機能障害<br>(PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD<br>H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング<br>病、先端巨大症、下垂体機能低下症) | 87人   |

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

| 施設基準等の種類         | 施設基準等の種類 |
|------------------|----------|
| ・超音波骨折治療法        | ・        |
| ・膀胱水圧拡張術         | ・        |
| ・広範囲顎骨支持型装置埋入手術  | ・        |
| ・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術 | ・        |
| ・                | ・        |
| ・                | ・        |
| ・                | ・        |
| ・                | ・        |
| ・                | ・        |
| ・                | ・        |
| ・                | ・        |
| ・                | ・        |
| ・                | ・        |
| ・                | ・        |
| ・                | ・        |
| ・                | ・        |
| ・                | ・        |

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

|                                     |   |
|-------------------------------------|---|
| 臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況                | ① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。<br>2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。 |
| 臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度 | 年100回程度   |
| 部 検 の 状 況                           | 部検症例数 24 例 / 部検率 12.3%                                    |

(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

| 研究課題名                                   | 研究者氏名 | 所属部門               | 金額(円)     | 補助元又は委託元                |
|---|-------|--------------------|-----------|-------------------------|
| AMLの低酸素環境下抗癌剤耐性の機序解明と低酸素選択的薬剤による根治療法の開発 | 松永 卓也 | 内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科学 | 1,145,000 | 補<br>委<br>文部科学省科学研究費補助金 |
| テネシン-C由来新規ペプチドを用いた造血幹細胞由来の輸血製剤の開発       | 松永 卓也 | 内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科学 | 250,000   | 補<br>委<br>文部科学省科学研究費補助金 |
| 肺癌細胞の転移浸潤能におけるサイトケラチン8分子の機能解析           | 石井 知也 | 内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科  | 500,000   | 補<br>委<br>文部科学省科学研究費補助金 |
| 糖尿病性血管合併症における血中Smad1の測定系構築と有効性の評価       | 近藤 直樹 | 循環器・腎臓・脳卒中内科       | 790,000   | 補<br>委<br>文部科学省科学研究費補助金 |
| 転移性肝癌におけるマイクロRNAを標的分子とした治療法開発のための基礎的研究  | 正木 勉  | 消化器・神経内科学          | 1,100,000 | 補<br>委<br>文部科学省科学研究費補助金 |
| 慢性ウイルス性肝疾患の非侵襲的線化評価法の開発と臨床的有用性の確立       | 三好 久昭 | 消化器・神経内科学          | 1,200,000 | 補<br>委<br>厚生労働省科学研究費補助金 |
| 軟性内視鏡による超低侵襲手術の基礎研究および術式確立              | 吉田 宏仁 | 消化器・神経内科           | 1,200,000 | 補<br>委<br>文部科学省科学研究費補助金 |
| ダブルノックアウトマウスを利用したアトピー性皮膚炎モデルマウスの作製      | 米田 耕造 | 皮膚科                | 300,000   | 補<br>委<br>文部科学省科学研究費補助金 |
| 皮膚バリア機構破綻アトピー性皮膚炎モデルマウスの酸化ストレス状態と治療     | 中井 浩三 | 皮膚科                | 1,000,000 | 補<br>委<br>文部科学省科学研究費補助金 |
| 糖鎖関連分子を標的にした生活習慣病予防マーカーの開発              | 中村 祐  | 精神神経医学             | 100,000   | 補<br>委<br>文部科学省科学研究費補助金 |
| オリゴデンドロサイトのDNA損傷に対する脆弱性-A Dとの関連について     | 中村 祐  | 精神神経医学             | 830,000   | 補<br>委<br>文部科学省科学研究費補助金 |
| アカシジヤの病態解明に関する「覚醒時」ミオクロームスの電気生理学的研究     | 新野 秀人 | 精神神経医学             | 100,000   | 補<br>委<br>文部科学省科学研究費補助金 |
| 軽度認知障害の睡眠構造とアルツハイマー病移行との関係について          | 新野 秀人 | 精神神経医学             | 100,000   | 補<br>委<br>文部科学省科学研究費補助金 |
| 小児等の特殊患者に対する医薬品の適正使用に関する研究              | 伊藤 進  | 小児科学               | 9,200,000 | 補<br>委<br>厚生労働省科学研究費補助金 |
| 小児救急医療に対する保護者の安心と適正利用を推進する子育て支援の検討      | 伊藤 進  | 小児科学               | 10,000    | 補<br>委<br>文部科学省科学研究費補助金 |

|  |        |                  |           |        |               |
|--|--------|------------------|-----------|--------|---------------|
| 未熟児・新生児貧血に対する脳循環酸素代謝状態に基づく輸血基準の作成を目指して     | 小谷野 耕佑 | 総合周産期母子医療センター    | 800,000   | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 低酸素性虚血性脳症の水素投与と酸素調節での活性酸素減少を目的とした治療戦略の確立   | 日下 隆   | 総合周産期母子医療センター    | 1,300,000 | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 網羅的プロテオーム解析を用いた膵臓癌の発癌と転移機序の解明とバイオマーカーの開発   | 谷内田 真一 | 消化器外科            | 5,100,000 | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 二層法と希少糖を駆使した膵島移植成績向上のための研究                 | 鈴木 康之  | 消化器外科学           | 2,900,000 | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| bFGF徐放粒子肺動脈内投与により細血管と肺胞上皮を再生させる肺気腫の治療の研究   | 横見瀬 裕保 | 呼吸器・乳腺<br>内分泌外科学 | 2,600,000 | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 薬剤耐性腫瘍に対する標的分子抑制ベクターによる抗腫瘍剤増感療法            | 劉 大革   | 呼吸器・乳腺<br>内分泌外科学 | 1,000,000 | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 自家骨髄由来幹細胞とbFGF徐放ゼラチンビーズによる肺気腫の新しい治療の研究     | 垂水 晋太郎 | 呼吸器・乳腺<br>内分泌外科学 | 700,000   | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 骨軟部肉腫に対する分子標的治療                            | 中村 修   | 整形外科             | 1,000,000 | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 術後の運動制限下における大脳皮質の活性化を考慮した筋力トレーニングの検討       | 森田 伸   | リハビリテーション部       | 400,000   | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| ティッシュエンジニアリングチャンバーを用いた血管柄付き皮弁作製の実験的研究      | 田中 嘉雄  | 形成外科学            | 500,000   | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 脂肪幹細胞を用いた血管付人口脂肪弁の開発                       | 浜本 有祐  | 形成外科・美容外科        | 800,000   | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| ウロプラキシンIII-delta4を分子マーカーとした間質性膀胱炎の新規診断法の開発 | 笥 善行   | 泌尿器科学            | 760,000   | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 高悪性度筋層非浸潤癌に対する経尿道的膀胱腫瘍切除後の治療方針の確立に関する研究    | 笥 善行   | 泌尿器科学            | 150,000   | 補<br>委 | 厚生労働科学研究費補助金  |
| Death Receptor 5を表面マーカーとした末梢循環腎癌細胞検出系の開発   | 平間 裕美  | 泌尿器・副腎・腎移植外科     | 1,400,000 | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 悪性脳腫瘍に対する薬剤耐性遺伝子を用いた遺伝子・タンパク治療の研究          | 田宮 隆   | 脳神経外科学           | 3,800,000 | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |



|  |        |             |           |        |               |
|--|--------|-------------|-----------|--------|---------------|
| 分子イメージングPET核種を用いた頭部外傷における脳虚血の検出          | 河井 信行  | 脳神経外科学      | 1,000,000 | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 未熟児網膜症の新規手術法開発後の治療プロトコールの標準化             | 白神 史雄  | 眼科学         | 1,000,000 | 補<br>委 | 厚生労働省科学研究費補助金 |
| 網膜脈絡膜・視神経萎縮症に関する調査研究                     | 白神 史雄  | 眼科学         | 3,000,000 | 補<br>委 | 厚生労働省科学研究費補助金 |
| 血管新生黄斑症に対するペプチドワクチン療法                    | 白神 史雄  | 眼科学         | 2,500,000 | 補<br>委 | 厚生労働省科学研究費補助金 |
| メニエール病発症におけるβアドレナリン受容体の役割に関する研究          | 森 望    | 耳鼻咽喉科学      | 1,100,000 | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 細菌分子によるマトリックス・アンカーリングの機構解明と実用化を目指した前臨床研究 | 森 望    | 耳鼻咽喉科学      | 250,000   | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 内リンパ囊の内リンパ静水圧調節機能についての検討                 | 稲本 隆平  | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 | 1,000,000 | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 多チャンネル近赤外線分光測定装置を用いた小児人工内耳症例の予後予測方法の確立   | 大崎 康宏  | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 | 2,600,000 | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| PET分子イメージングによる脳腫瘍の不均一性評価の研究              | 西山 佳宏  | 放射線医学       | 1,000,000 | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 肺癌における低酸素細胞陽性描画を目的としたPET分子イメージング研究       | 山本 由佳  | 放射線診断科      | 1,000,000 | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| F-18 FLT PETを用いた消化器癌の分子イメージングの研究         | 亀山 麗子  | 放射線診断科      | 1,000,000 | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 頭頸部癌における低酸素細胞陽性描画を目的としたPET分子イメージング研究     | 安賀 文俊  | 放射線診断科      | 1,700,000 | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 頭頸部腫瘍に対する強度変調放射線治療の確立と標準化のための臨床研究        | 柴田 徹   | 放射線治療部      | 100,260   | 補<br>委 | 厚生労働省科学研究費補助金 |
| 生理食塩水による磁気共鳴差分血管撮影法の開発                   | 中野 覚   | 放射線部        | 1,050,000 | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 術後機能的健康状態回復促進因子の検討                       | 白神 豪太郎 | 麻酔学         | 2,800,000 | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |

|  |       |         |            |        |               |
|--|-------|---------|------------|--------|---------------|
| 希少糖の経口摂取による侵襲抑制効果の検討                     | 浅賀 健彦 | 集中治療部   | 500,000    | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 経時的脳内酸化ストレス評価に基づく重症脳障害患者の抗酸化治療の有効性に関する研究 | 黒田 泰弘 | 救急災害医学  | 700,000    | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| バーチャルリアリティによる内視鏡支援下口腔外科手術手技訓練システムの開発     | 松井 義郎 | 歯科口腔外科学 | 754,000    | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| CD34陽性細胞を用いる骨再生促進法に対するG-CSFの併用効果         | 松井 義郎 | 歯科口腔外科学 | 50,000     | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| in vivo EPR Dosimetryの生体への応用             | 三宅 実  | 歯科口腔外科学 | 2,645,000  | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 高周波超音波を用いた組織歪み評価に基づく新しい心血管組織硬さ計測法の開発     | 千田 彰一 | 総合診療部   | 6,150,000  | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 胃瘻からの半固形化栄養材注入法の機序と臨床的意義の検討              | 合田 文則 | 総合診療部   | 500,000    | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 新しい心臓年齢の提唱と脳心腎連関をふまえた総合的高血圧性臓器障害予防に関する研究 | 舩形 尚  | 総合診療部   | 600,000    | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| C型慢性肝炎におけるCD36分子を標的としたインスリン抵抗性の解明        | 樋本 尚志 | 総合診療部   | 1,000,000  | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 臨床医療におけるオントロジー概念を用いた高次音声認識システムの開発        | 横井 英人 | 医療情報部   | 1,400,000  | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| レギュラトリーサイエンスの手法を用いた新薬承認審査ナレッジベースの構築と応用   | 横井 英人 | 医療情報部   | 400,000    | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| コンパニオン体外診断用医薬品の臨床性能試験の在り方に関する再帰的研究       | 横井 英人 | 医療情報部   | 1,950,000  | 補<br>委 | 厚生労働科学研究費補助金  |
| 医薬品等の市販後安全対策のための医療情報データベースを活用した薬剤疫学的手法   | 横井 英人 | 医療情報部   | 950,000    | 補<br>委 | 厚生労働科学研究費補助金  |
| 医療機器安全情報の電子化推進に関する研究                     | 横井 英人 | 医療情報部   | 3,847,000  | 補<br>委 | 厚生労働科学研究費補助金  |
| 複数回治療に対応した次世代がん放射線治療計画支援システムの開発          | 上村 幸司 | 医療情報部   | 800,000    | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 慢性腎臓病進行の機序                               | 西山 成  | 薬理学     | 500,000    | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
|  | 受入額計  |         | 84,881,260 |        | 合計61件         |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名<br>発表年月                          | 題名  | 発表者氏名                            | 所属部門              |
|--------------------------------------|---|----------------------------------|-------------------|
| Brain.<br>平成23年6月                    | Intravenous administration of auto serum-expanded autologous mesenchymal stem cells in stroke.  | Honmou O, Houkin K, Matsunaga T, | 内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科 |
| Oncol Rep.<br>平成23年10月               | Cytokeratins negatively regulate the invasive potential of lung cancer cell lines.  | Kanaji N,                        | 内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科 |
| Mol Diagn Ther.<br>平成23年11月          | Detection of Epidermal Growth Factor Receptor Mutations in a Few Cancer Cells from Transbronchial Cytologic Specimens by Reverse Transcriptase-Polymerase Chain Reaction. | Kanaji N,                        | 内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科 |
| Clin Rheumatol.<br>平成23年5月           | Improvement of irregularity of brain vessel walls in systemic lupus erythematosus by tacrolimus   | Kizu H, Dobashi H,               | 内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科 |
| Am J Hypertens.<br>平成24年2月 (Epub)    | Early treatment with olmesartan prevents juxtamedullary glomerular podocyte injury and the onset of microalbuminuria in type 2 diabetic rats.                             | 祖父江 理                            | 循環器腎臓脳卒中内科        |
| Am J Physiol Cell Physiol<br>平成23年7月 | Vascular smooth muscle insulin resistance, but not hypertrophic signaling, is independent of Angiotensin II-induced IRS-1 phosphorylation by JNK.                         | 人見浩史                             | 循環器・腎臓・脳卒中内科      |
| Am J. Hypertens.<br>平成23年10月         | Angiotensin II shifts insulin signaling into vascular remodeling from glucose metabolism in vascular smooth muscle cells.   | 人見浩史                             | 循環器・腎臓・脳卒中内科      |
| Diagn Ther Endosc<br>平成23年7月         | Comparison of postoperative complications after endoscopic submucosal dissection: Differences of insufflations and anesthetics.   | Mori H                           | 消化器・神経内科          |
| J Gastroenterol Hepatol<br>平成24年1月   | New technique for safer endoscopic submucosal dissection using the duodenal balloon occlusion method.   | Mori H                           | 消化器・神経内科          |
| Mol Cancer Ther<br>平成24年3月           | The Antidiabetic Drug Metformin Inhibits Gastric Cancer Cell Proliferation In Vitro and In Vivo.  | Kato K                           | 消化器・神経内科          |

| 雑誌名<br>発表年月                                  | 題名  | 発表者氏名            | 所属部門     |
|--|---|------------------|----------|
| Neurol Res Int.<br>2012年1月                   | Transcranial magnetic stimulation with the maximum voluntary muscle contraction facilitates motor neuron excitability and muscle force.   | Touge T          | 消化器・神経内科 |
| Journal of Dermatolog<br>Treat.2012<br>2012年 | Effect of sequential application of topical adapalene and clindamycin phosphate in the treatment of Japanese patients with acne vulgaris. | Y. Kubota        | 皮膚科      |
| Experimental Dermatology<br>2011年5月          | Lipid peroxidation-induced VEGF expression in the skin of KKAy obese mice.  | K. Nakai         | 皮膚科      |
| Sleep Medicine<br>平成23年6月                    | Effect of levothyroxine on prolonged nocturnal sleep time and excessive daytime somnolence in patients with idiopathic hypersomnia.       | Shinno H, et al. | 精神神経医学講座 |
| Pediatr Int.<br>平成23年10月                     | Management of phototherapy for neonatal hyperbilirubinemia: Is a new radiometer applicable for all wavelengths and light source types?    | Kuboi T          | 小児科学     |
| Pediatr Res.<br>平成23年5月                      | Functional lateralization of sensorimotor cortex in infants measured using multichannel near-infrared spectroscopy.                       | Kusaka T         | 小児科学     |
| 日小血会誌<br>平成23年                               | MLL遺伝子再構成を認めた成熟B細胞急性リンパ芽球性白血病の1例  | 岡田仁              | 小児科学     |
| J Pediatr<br>Gastroenterol Nutr.<br>平成24年1月  | Terminal Ileitis Caused by Yersinia pseudotuberculosis Mimicking Crohn's Disease in Childhood.  | Ijichi S         | 小児科学     |
| Brain Dev.<br>平成24年2月 accept                 | A developmental change of the visual behavior of the face recognition in the early infancy.   | Konishi Y        | 小児科学     |
| Ultrasound Med Biol<br>平成23年9月               | Fetal reflex movement in twin pregnancies late in the first trimester: Four-dimensional sonographic study.                                | Hata T.          | 周産期学婦人科学 |

| 雑誌名<br>発表年月                             | 題名  | 発表者氏名      | 所属部門            |
|---|---|------------|-----------------|
| Ultrasound Med Biol<br>平成24年3月          | Transvaginal three-dimensional power Doppler ultrasound evaluation of the fetal brain at 10-13 weeks' gestation.                                    | Hata T.    | 周産期学婦人科学        |
| J Matern Fetal Neonatal Med<br>平成24年3月  | Difference in the frequency of types of inter-twin contact at 10-13 weeks' gestation: Preliminary four-dimensional sonographic study.               | Hata T.    | 周産期学婦人科学        |
| Transplantation<br>平成23年5月              | Hepatic Preconditioning Using Lipopolysaccharide: Association with Specific Negative Regulators of the Toll-Like Receptor 4 Signaling Pathway.      | T. Sano    | 消化器外科           |
| J Hepatobiliary Pancreat Sci<br>平成23年5月 | Persisting ratio of total amylase output in drain fluid can predict postoperative clinical pancreatic fistula.                                      | K. Okano   | 消化器外科           |
| Hepato-Gastroenterol<br>平成23年11-12月     | Surgical Approach for Extrahepatic Metastasis of HCC in the Abdominal Cavity.   | T. Sano    | 消化器外科           |
| J Hepatobiliary Pancreat Sci<br>平成24年1月 | Hepatic venous outflow reconstruction using an external iliac vein graft for hepatic malignancies (with video).                                     | K. Okano   | 消化器外科           |
| J Gastrointest Surg<br>平成24年2月          | Molecular mechanism underlying the detection of colorectal cancer by 18F-2-Fluoro-2-Deoxy-D: -glucose positron emission tomography.                 | K. Izuishi | 消化器外科           |
| 日本呼吸器外科学会雑誌<br>平成23年5月                  | 右I期肺癌術後乳糜胸に対しオクトレオチド投与が有効であったと考えられる1例   | 呉哲彦        | 呼吸器・乳腺<br>内分泌外科 |
| Eur J Cardiothorac Surg.<br>平成23年6月     | Clinicopathological study of p-T1aN0M0 non-small-cell lung cancer, as defined in the seventh edition of the TNM classification of malignant tumors. | Igai H     | 呼吸器・乳腺<br>内分泌外科 |
| Gen Thorac Cardiovasc Surg.<br>平成23年6月  | Main bronchial sleeve resection and bronchoplasty without removing lung parenchyma.   | Igai H     | 呼吸器・乳腺<br>内分泌外科 |

| 雑誌名<br>発表年月                         | 題名  | 発表者氏名      | 所属部門            |
|-------------------------------------|---|------------|-----------------|
| Eur J Cardiothorac Surg.<br>平成23年7月 | Usefulness of [(18)F]fluoro-2-deoxy-d-glucose positron emission tomography for predicting the World Health Organization malignancy grade of thymic epithelial tumors. | Igai H     | 呼吸器・乳腺<br>内分泌外科 |
| Kyobu Geka.<br>平成23年7月              | Surgical treatment of pulmonary aspergilloma and pulmonary cryptococcosis.  | Yokomise H | 呼吸器・乳腺<br>内分泌外科 |
| Ann Thorac Surg.<br>平成23年12月        | Bronchoplastic operation using a continuous anastomosis for mucous gland adenoma.   | Matsuura N | 呼吸器・乳腺<br>内分泌外科 |
| Eur J Cardiothorac Surg.<br>平成24年3月 | Prognostic factors in patients after lobectomy for p-T1aN0M0 adenocarcinoma.  | Igai H     | 呼吸器・乳腺<br>内分泌外科 |
| Kyobu Geka.<br>平成24年3月              | Predictor of Intrathoracic Lymph Node Metastasis in Peripheral Non-small Cell Lung Cancers 20 mm or less in Greatest Dimension  | Igai H     | 呼吸器・乳腺<br>内分泌外科 |
| Int J Oncol.<br>平成23年12月            | Inhibition of induced autophagy increases apoptosis of Nara-H cells.  | Nakamura O | 整形外科            |
| 中部日本整形外科災害<br>外科学会雑誌<br>平成24年3月     | 膝蓋骨摘出術後に切除脛骨を用いて膝蓋骨を形成したTKAの1例  | 森正樹        | 整形外科            |
| 中部日本整形外科災害<br>外科学会雑誌<br>平成24年3月     | Bouchard結節に対し人工指関節置換術を施行した1例  | 北野洋一       | 整形外科            |
| 日本手外科学会雑誌<br>平成23年12月               | 手指屈筋腱皮下断裂例(Zone3、4)に対する減張位早期運動療法.   | 加地良雄       | 整形外科            |
| 中部日本整形外科災害<br>外科学会雑誌<br>平成23年11月    | 胸椎硬膜外に発生し下肢痙性麻痺を呈した血管腫の1例   | 小松原悟史      | 整形外科            |

| 雑誌名<br>発表年月                                  | 題名  | 発表者氏名           | 所属部門         |
|--|---|-----------------|--------------|
| 骨折<br>平成23年9月                                | 手術的加療を要した橈骨遠位端骨折変形治癒例の手術経験  | 今泉泰彦            | 整形外科         |
| 日本マイクロサージャリー学会誌<br>2011.6                    | 糖尿病性足潰瘍・重症虚血肢の救済：マイクロサージャリーの役割  | 田中嘉雄            | 形成外科学        |
| Urology. 2011<br>Jun;77(6):1507.e15-20.      | Effect of the phytotherapeutic agent Eviprostat on inflammatory changes and cytokine production in a rat model of nonbacterial prostatitis.   | Sugimoto M.     | 泌尿器・副腎・腎移植外科 |
| J Med Invest. 2011<br>Feb;58(1-2):81-5.      | View and present status of personnel involved in clinical trials: a survey of participants from the First Symposium of the Shikoku Collaborative Group for Promotion of Clinical Trials.                            | Takehi Y.       | 泌尿器・副腎・腎移植外科 |
| Prostate. 2011 Mar<br>1;71(4):438-44.        | Effect of a phytotherapeutic agent, Eviprostat®, on prostatic and urinary cytokines/chemokines in a rat model of nonbacterial prostatitis.  | Sugimoto M.     | 泌尿器・副腎・腎移植外科 |
| Transplantation Proceedings. 2011 (in press) | An experience of ABO-incompatible kidney transplantation using plasmapheresis and anti-CD20 and -CD25 antibodies patients with high blood-group IgG titers.   | Inui M.         | 泌尿器・副腎・腎移植外科 |
| Med Hypotheses<br>平成23年6月                    | The anti-inflammatory effects of D-allose contribute to attenuation of cerebral ischemia-reperfusion injury   | Gao D           | 脳神経外科        |
| 脳循環代謝<br>平成23年8月                             | びまん性脳外傷後高次脳機能障害患者における局所性神経細胞障害：統計学的画像解析法を用いた <sup>11</sup> C-flumazenil PETによる検討  | 河井信行            | 脳神経外科        |
| Cancers<br>平成24年3月                           | Diagnostic value of <sup>11</sup> C-Methionine (MET) and <sup>18</sup> F-Fluorothymidine (FLT) positron emission tomography in recurrent high-grade gliomas: Differentiation from treatment-induced tissue necrosis | Hajime Shishido | 脳神経外科        |
| J Glaucoma<br>平成23年8月                        | Comparison of Retinal Nerve Fiber Layer Thickness Measurements Using Time Domain and Spectral Domain Optical Coherence Tomography, and Visual Field Sensitivity.  | K. Hirooka      | 眼科           |

| 雑誌名<br>発表年月   | 題名  | 発表者氏名        | 所属部門 |
|---|---|--------------|------|
| Acta Ophthalmologica<br>平成23年5月                             | Long-term efficacy and safety of ranibizumab administered pro re nata in Japanese patients with neovascular age-related macular degeneration in the EXTEND-I study.     | F. Shiraga   | 眼科   |
| Am J Ophthalmol<br>平成23年6月                                  | Success Rates of Trabeculotomy for Steroid-Induced Glaucoma: a Comparative, Multicenter, Retrospective, Cohort Study.   | F. Shiraga   | 眼科   |
| Jpn J Ophthalmol<br>平成23年5月                                 | D-allose as Ischemic Retina Injury Inhibitor During Rabbit Vitrectomy.  | F. Shiraga   | 眼科   |
| Retina<br>平成24年2月   | Correlation of Increased Fundus Autofluorescence Signals at Closed Macula with Visual Prognosis after Successful Macular Hole Surgery.                                  | C. Shiragami | 眼科   |
| Curr Eye Res<br>平成23年11月                                    | Deleterious Role of Anti-high Mobility Group Box 1 Monoclonal Antibody in Retinal Ischemia-reperfusion Injury.  | K. Hirooka   | 眼科   |
| Retina<br>平成23年9月   | Morphological and functional advantages of macular hole surgery with brilliant blue G-assisted internal limiting membrane peeling.                                      | K. Fukuda    | 眼科   |
| Journal of Ocular Pharmacology and Therapeutics<br>平成23年11月 | Efficacy and Safety of Switching from Topical Latanoprost to Bimatoprost in Patients with Normal-Tension Glaucoma.  | T. Babá      | 眼科   |
| Neurosci Lett.<br>平成24年1月                                   | Edaravone, a free radical scavenger, attenuates behavioral deficits following transient forebrain ischemia by inhibiting oxidative damage in gerbils.                   | F. Shiraga   | 眼科   |
| Experimental Eye Research<br>平成24年3月                        | Activation of the Aldosterone/Mineralocorticoid Receptor System and Protective Effects of Mineralocorticoid Receptor Antagonism in Retinal Ischemia-Reperfusion Injury. | K. Hirooka   | 眼科   |
| 日本眼科学会雑誌<br>平成23年4月   | 網膜中心静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫に対するベバシズマブ硝子体内投与の中期成績   | 福田恒輝         | 眼科   |



| 雑誌名<br>発表年月                                   | 題名   | 発表者氏名        | 所属部門            |
|---|--|--------------|-----------------|
| 日本眼科学会雑誌<br>平成23年6月                           | トリアムシノロンによる無菌性眼内炎調査  | 白神史雄         | 眼科              |
| あたらしい眼科<br>平成23年8月                            | 降圧剤の内服で眼圧下降を認めた正常眼圧緑内障の1例  | 馬場哲也         | 眼科              |
| 臨床眼科<br>平成23年8月                               | 加齢黄斑変性に対するラニズマブ投与後における早期中心網膜厚の変化   | 山下彩奈         | 眼科              |
| あたらしい眼科<br>平成23年9月                            | 加齢黄斑変性、ポリープ状脈絡膜血管症の脈絡膜OCT所見  | 白神千恵子        | 眼科              |
| 臨床眼科<br>平成24年1月                               | やさしい目できびしい目で   | 山下彩奈         | 眼科              |
| 頭頸部自律神経<br>平成23年4月                            | パーキンソン病患者に対する嗅覚評価の検討   | 唐木将行         | 耳鼻咽喉科・<br>頭頸部外科 |
| Cancer Letters<br>平成23年7月                     | Enhancement of the radiation effects by D-allose in head and neck cancer cells   | H. Hoshikawa | 耳鼻咽喉科学          |
| Nuclear Medicine<br>Communications<br>平成23年8月 | Early prediction of local control in head and neck cancer after chemoradiotherapy by FDG-PET   | H. Hoshikawa | 耳鼻咽喉科学          |
| Clin Nucl Med<br>平成23年4月                      | A comparative study of F-18 FDG PET and <sup>201</sup> Tl scintigraphy for detection of primary malignant bone and soft-tissue tumors.               | Y. Yamamoto  | 放射線医学           |
| Nucl Med Commun<br>平成23年6月                    | Correlation of <sup>18</sup> F-FLT uptake with equilibrative nucleoside transporter-1 and thymidine kinase-1 expressions in gastrointestinal cancer. | R. kameyama  | 放射線医学           |

| 雑誌名<br>発表年月                                     | 題名  | 発表者氏名       | 所属部門        |
|---|---|-------------|-------------|
| Mol Imaging Biol<br>平成23年12月                    | Comparison of $^{11}\text{C}$ -Methionine PET and $^{18}\text{F}$ -FDG PET in Patients with Primary Central Nervous System Lymphoma.  | Y. Kawase   | 放射線医学       |
| Clin Nucl Med<br>平成24年1月                        | Hypertrophic Cranial Pachymeningitis With IgG4-Positive Plasma Cells Detected by C-11 Methionine PET.   | T. Norikane | 放射線医学       |
| Ann Nucl Med<br>平成23年4月                         | Omission of $^{15}\text{O}$ CO scan for PET CMRO <sub>2</sub> examination using $^{15}\text{O}$ -labelled compounds.  | Y. Sasakawa | 放射線部        |
| Mol Imaging Biol<br>平成23年8月                     | Shortening the duration of $^{18}\text{F}$ FDG PET brain examination for diagnosis of brain glioma.   | T. Monden   | 放射線部        |
| Hypertens Res. 2012<br>Jul;35(7):720-4.         | The optimal timing of antihypertensive medication administration for morning hypertension in patients with cerebral infarction.   | Murao K,    | 先端医療・臨床検査医学 |
| J Endocrinol Invest.<br>2011 Dec;34(11):813-5.  | Raloxifene inhibits menin-dependent estrogen receptor activation in breast cancer cells.  | Murao K.    | 先端医療・臨床検査医学 |
| Intern Med.<br>2011;50(24):2987-91.             | Novel mutations in the gene encoding acid $\alpha$ -1,4-glucosidase in a patient with late-onset glycogen storage disease type II (Pompe disease) with impaired intelligence. | Murao K,    | 先端医療・臨床検査医学 |
| Fertil Steril. 2011<br>Jul;96(1):260-1.         | Hemolysis, elevated liver enzymes, and low platelet count (HELLP) syndrome with pituitary apoplexy.   | Murao K,    | 先端医療・臨床検査医学 |
| BMC Genomics. 2011<br>May 11;12:228.            | Transcriptional double-autorepression feedforward circuits act for multicellularity and nervous system development.   | Murao K,    | 先端医療・臨床検査医学 |
| J Endocrinol Invest.<br>2011 Oct;34(9):e268-74. | Exendin-4 regulates the expression of the ATP-binding cassette transporter A1 via transcriptional factor PREB in the pancreatic $\beta$ cell line.                            | Murao K,    | 先端医療・臨床検査医学 |

| 雑誌名<br>発表年月                           | 題名   | 発表者氏名       | 所属部門        |
|---------------------------------------|--|-------------|-------------|
| Metabolism. 2011<br>Apr;60(4):579-85. | Exendin-4 regulates GLUT2 expression via the CaMKK/CaMKIV pathway in a pancreatic $\beta$ -cell line.  | Muraio K,   | 先端医療・臨床検査医学 |
| Clin Exp Hypertens.<br>平成24年3月        | Reduced Bone Mineral Density in Hypertensive Patients is Associated with Left Ventricular Diastolic Dysfunction, not Left Ventricular Hypertrophy            | H. Masugata | 総合診療部       |
| Can J Gastroenterol.<br>平成24年3月       | Clinical significance of autoantibodies to p53 protein in patients with autoimmune liver diseases  | T. Himoto   | 総合診療部       |
| J Int Med Res.<br>平成24年1月             | Association between Cardiac Function and Pulmonary Function in Hypertensive Patients   | H. Masugata | 総合診療部       |
| Biol Trace Elem Res.<br>平成23年12月      | Contribution of zinc deficiency to insulin resistance in patients with primary biliary cirrhosis.  | T. Himoto   | 総合診療部       |
| Tohoku J Exp Med.<br>平成23年11月         | Correlation of arterial stiffness to left ventricular function in patients with reduced ejection fraction  | H. Masugata | 総合診療部       |
| Nutr Res.<br>平成23年11月                 | Selenium deficiency is associated with insulin resistance in patients with hepatitis C virus-related chronic liver disease.                                  | T. Himoto   | 総合診療部       |
| J Atheroscler Thromb.<br>平成23年11月     | Association of Cardio-Ankle Vascular Index with Brain Natriuretic Peptide Levels in Hypertension   | H. Masugata | 総合診療部       |
| Hypertens Res.<br>平成23年7月             | Visit-to-Visit Variability in Blood Pressure during a One-year Period is a Marker of Left Ventricular Diastolic Dysfunction in Treated Hypertensive Patients | H. Masugata | 総合診療部       |
| Tohoku J Exp Med.<br>平成23年6月          | Seasonal Variation in Estimated Glomerular Filtration Rate Based on Serum Creatinine Levels in Hypertensive Patients   | H. Masugata | 総合診療部       |

| 雑誌名<br>発表年月                                       | 題名  | 発表者氏名           | 所属部門     |
|---|---|-----------------|----------|
| J Int Med Res.<br>平成23年5月                         | Differences in Left Ventricular Diastolic Dysfunction between Eccentric and Concentric Left Ventricular Hypertrophy in Hypertensive Patients with Preserved Systolic Function | H. Masugata     | 総合診療部    |
| Tohoku J Exp Med.<br>平成23年4月                      | Association between High-sensitivity C-reactive Protein and Left Ventricular Diastolic Function Assessed by Echocardiography in Patients with Cardiovascular Risk Factors     | H. Masugata     | 総合診療部    |
| 日本心療内科学会誌<br>平成23年5月                              | 心身症診断再考 今、改めて気づきの意義について   | 岡田 宏基           | 総合診療部    |
| J Endocrinol Invest<br>平成23年10月                   | Exendin-4 regulates the expression of the ATP-binding cassette transporter Al via transcriptional factor PREB in the pancreatic $\beta$ cell line                             | Miyai Y         | 病理部      |
| Appl Biochem<br>Biotechnol<br>平成23年4月             | Differential Effects of Cold Exposure on Gene Expression Profiles in White Versus Brown Adipose Tissue  | 渡邊政博            | 薬剤部      |
| 医療薬学雑誌<br>平成23年5月                                 | メトトレキサート大量療法におけるViva-ETMシステムを用いた血中濃度評価  | 山口佳津騎           | 薬剤部      |
| J Lipid Res.<br>平成23年11月                          | Enzymological analysis of the tumor suppressor A-C1 reveals a novel group of phospholipid-metabolizing enzymes  | 篠原尚樹            | 薬剤部      |
| Protein Expression<br>and Purification<br>平成23年3月 | High-level production and purification of clostripain expressed in a virulence-attenuated strain of <i>Clostridium perfringens</i>  | 田中章裕            | 薬剤部      |
| Circ J 平成23年4月                                    | Impact of Therapeutic Hypothermia in the Treatment of Patients With Out-of-Hospital Cardiac Arrest From the J-PULSE-HYPO Study Registry                                       | Yasuhiro Kuroda | 救命救急センター |
| 臨床シミュレーション<br>研究 平成24年1月                          | シミュレーション研修としての脳神経外科救急基礎 (PNLS: Primary Neurosurgical Life Support) コースの開発   | 黒田泰弘            | 救命救急センター |

10ページ  
計10件

合計100件

(様式第12)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

|         |               |      |                |
|---------|---------------|------|----------------|
| 管理責任者氏名 | 病 院 長 千 田 彰 一 |      |                |
| 管理担当者氏名 | 総務課長          | 岡田 俊 | 患者サービス課長 鬼村 博幸 |
|         | 薬剤部長          | 芳地 一 | 放射線部長 西山 佳宏    |

|  |  | 保管場所   | 管理方法   |
|--|--|--|--|
| 診療に関する諸記録<br>病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書 |  | 医学部患者サービス課<br>薬剤部<br>放射線部<br>検査部<br>病理部<br>医療情報部 | 診療録及び診療諸記録を電子媒体にて保存管理している。紙媒体のものについては、外来・入院別に1患者1ファイル方式とし、エックス線写真は1患者1ファイル方式で共に永久保存を原則として、コンピューターによる集中管理を行っている |
| 病院の管理及び運営に関する諸記録   | 従業者数を明らかにする帳簿                              | 医学部総務課   |  |
|  | 高度の医療の提供の実績                                | 医学部患者サービス課                                       |  |
|  | 高度の医療技術の開発及び評価の実績                          | 医学部総務課   |  |
|  | 高度の医療の研修の実績                                | 医学部患者サービス課                                       |  |
|  | 閲覧実績                                       | 医学部患者サービス課                                       |  |
|  | 紹介患者に対する医療提供の実績                            | 医学部患者サービス課                                       |  |
|  | 入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿                  | 医学部患者サービス課及び薬剤部                                  |  |
| 第規一則号第一に掲げる十の第一項及び第九の二十三第一項  | 医療に係る安全管理のための指針の整備状況                       | 医療安全管理部  |  |
|  | 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況                      | 医療安全管理部  |  |
|  | 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況                     | 医療安全管理部  |  |
|  | 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況 | 医学部患者サービス課<br>医療安全管理部                            |  |
|  | 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況                      | 医療安全管理部  |  |
|  | 専任の院内感染対策を行う者の配置状況                         | 感染制御部  |  |
|  | 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況                        | 医療安全管理部  |  |
|  | 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況         | 医学部患者サービス課<br>地域連携室<br>医療安全管理部                   |  |

|   |   | 保管場所  | 分類方法                  |
|---|---|---|-----------------------|
| 病院の管理及び運営に関する諸記録  | 規則第一一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況 | 院内感染のための指針の策定状況                                       | 感染制御部                 |
|   |   | 院内感染対策のための委員会の開催状況                                    | 感染制御部                 |
|   |   | 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況                              | 感染制御部                 |
|   |   | 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況           | 感染制御部                 |
|   |   | 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況                            | 医療安全管理部<br>薬剤部        |
|   |   | 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況                            | 医療安全管理部<br>薬剤部        |
|   |   | 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況            | 医療安全管理部<br>薬剤部        |
|   |   | 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 | 医療安全管理部<br>薬剤部        |
|   |   | 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況                                 | 医療安全管理部<br>ME機器管理センター |
|   |   | 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況                           | 医療安全管理部<br>ME機器管理センター |
| 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況                           | 医療安全管理部<br>ME機器管理センター                     |   |                       |
| 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 | 医療安全管理部<br>ME機器管理センター                     |   |                       |

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

|             |              |       |
|-------------|--------------|-------|
| 閲覧責任者氏名     | 医学部事務部長      | 日出 充一 |
| 閲覧担当者氏名     | 患者サービス課長     | 鬼村 博幸 |
| 閲覧の求めに応じる場所 | 管理棟 1 階情報公開室 |       |

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

|           |        |       |
|-----------|--------|-------|
| 前年度の総閲覧件数 | 延      | 0 件   |
| 閲覧者別      | 医師     | 延 0 件 |
|           | 歯科医師   | 延 0 件 |
|           | 国      | 延 0 件 |
|           | 地方公共団体 | 延 0 件 |

○紹介患者に対する医療提供の実績

|      |                        |         |                     |
|------|------------------------|---------|---------------------|
| 紹介率  | 75.8%                  | 算定期間    | 平成23年4月1日～平24年3月31日 |
| 算出根拠 | A: 紹介患者の数              | 8,863人  |                     |
|      | B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数  | 6,803人  |                     |
|      | C: 救急用自動車によって搬入された患者の数 | 750人    |                     |
|      | D: 初診の患者の数             | 14,849人 |                     |

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

|   |               |
|---|---------------|
| ① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況  | 有・無           |
| ・ 指針の主な内容：別紙①のとおり   |               |
| ② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況   | 年 1 1 回       |
| ・ 活動の主な内容：<br>(1) 安全管理のための指針の整備及び情報収集に関する事<br>(2) 安全管理のための医療事故等の院内報告制度の整備に関する事<br>(3) 安全管理に関する教育及び研修に関する事<br>(4) 医療事故の防止及び対策に関する事<br>(5) 安全対策マニュアルの実施状況の検証に関する事<br>(6) 医療事故発生時の対応方法の整備(事故調査を含む。)に関する事<br>(7) 医事問題に係る対策に関する事<br>(8) 分析されたインシデントレポートの情報を、速やかに職員に周知及び実行させる事<br>(9) その他医療事故を含む安全管理に関する事 |               |
| ③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況  | 年 3 1 回       |
| ・ 研修の主な内容：別紙②のとおり   |               |
| ④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況  |               |
| ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無)<br>・ その他の改善のための方策の主な内容：<br>○提出されたインシデントレポートを週に一回審議し、対応策を検討する。内容によってはGRMが現場に出向き、対応指導を行う。<br>○医療安全管理部会議においてインシデントの集計、分析、再発防止策を検討し医療安全管理委員会に報告する。<br>○リスクマネジメント会議において医療安全管理委員会及び医療安全管理部が講じた対策等の情報を各現場に浸透させる。   |               |
| ⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況   | 有 ( 1 名 ) ・ 無 |
| ⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況  | 有 ( 1 名 ) ・ 無 |
| ⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況   | 有・無           |
| ・ 所属職員： 専任 ( 1 ) 名 兼任 ( 2 0 ) 名<br>・ 活動の主な内容：<br>病院長の下に組織横断的に院内の安全管理を担い、医療安全管理委員会において審議する事項 (上記②) に関して、調査、資料作成等を行うとともに、審議結果等に基づく安全管理を実施する。また、医療安全管理委員会に対して安全管理に関する提言を行う。  |               |
| ⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況  | 有・無           |



院内感染対策のための体制の確保に係る措置

|  |         |
|--|---------|
| ① 院内感染対策のための指針の策定状況  | 有・無     |
| ・ 指針の主な内容：別紙③のとおり  |         |
| ② 院内感染対策のための委員会の開催状況   | 年 1 1 回 |
| ・ 活動の主な内容：<br>(1) 院内感染の調査、予防及び防止に関する事。<br>(2) 感染予防の実施、監視及び指導に関する事。<br>(3) 感染症発生時の措置に関する事。<br>(4) 院内職員の教育及び啓蒙に関する事。<br>(5) 消毒剤の使用に関する事。<br>(6) HIV感染及びAIDSに係る職員の教育・啓蒙に関する事。<br>(7) HIV・AIDS診療に従事する人材の育成に関する事。<br>(8) HIV・AIDS診療に係る県内各拠点病院との連携の実施に関する事。<br>(9) その他感染予防に関する事。 |         |
| ③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況   | 年 2 回   |
| ・ 研修の主な内容：<br>・ 感染防止の技術<br>・ 病院感染対策について<br>・ 感染対策のスタンダードプリコーション、感染経路別予防策   |         |
| ④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況  |         |
| ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)<br>・ その他の改善のための方策の主な内容：<br>毎月のレポートは感染対策室員会議で検討し、検討結果を感染制御委員会に報告、必要に応じて対応を協議している。レポートの結果を職員にフィードバックしている。<br>感染症発生報告の内容によってICNが現場へ出向き対応、指導を行う。必要に応じてICTが招集され対策を検討、ICN、ICD、ICTが協力して対応にあたる。適宜、病院長、感染制御委員会、各関係会議等へ報告を行う。                              |         |

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

|   |         |
|---|---------|
| ① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況  | 有・無     |
| ② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況  | 年 2 3 回 |
| ・ 研修の主な内容：<br>医薬品の安全使用を目的とし、各病棟職員または病院職員全体を対象とした研修を行っている。   |         |
| ③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況  |         |
| ・ 手順書の作成 (有・無)<br>・ 業務の主な内容：<br>1) 医薬品の採用と購入<br>2) 医薬品の管理<br>3) 投薬指示と調剤<br>4) 患者に対する服薬指導<br>5) 医薬品の安全使用に係る情報の取り扱い(収集・提供)<br>6) 他施設との連携の各業務について適正に実施している。  |         |
| ④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況   |         |
| ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)<br>・ その他の改善のための方策の主な内容：<br>1) 薬剤部ニュース(月1回)を全診療科に配布している。<br>2) 急を要する連絡は文書と院内Webで通知している。<br>3) 薬事委員会で院内採用薬の見直しを行っている。<br>4) 院内での副作用発生事例については情報を収集し、厚生労働省および当該医薬品メーカーへ報告を行っている。<br>5) 医薬品安全管理委員会(薬事委員会)を設置、年4回開催している。 |         |

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

|   |      |
|---|------|
| ① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況   | 有・無  |
| ② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況   | 年60回 |
| <p>・ 研修の主な内容：<br/>業者の協力を得て、新しい医療機器の使用が予定される部署、職員等を対象に研修を実施している。</p>   |      |
| ③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況   |      |
| <p>・ 計画の策定 (有・無)<br/>・ 保守点検の主な内容：<br/>機種別に保守点検の周期を設け、定期的に点検を実施し、記録を保存している。業務委託による保守点検においては実施状況等の記録を保存し、管理状況を把握している。</p>   |      |
| ④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況   |      |
| <p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)<br/>・ その他の改善のための方策の主な内容：<br/>ニュース「ME機器管理センターからのお知らせ」を説明のうえ、各病棟、部署に配布している。必要に応じてリスクマネージャー会議で周知徹底を行っている。また、人工心肺装置及び補助循環装置等、対象部署が限局される事項については、その都度通知文を回覧し周知徹底している。<br/>K-MINDにてマニュアル、添付文書、ニュース、お知らせを掲載している。</p> |      |

## 安全管理のための基本方針

本院は、患者さんが安心して医療を受けられる環境を整え、各医療現場において安全確実な医療を実践・教育する。

医療事故の絶無を期して、現場における責任体制を明確にし、医療事故防止のための安全管理体制を病院全体で取り組み確立する。

### 1 安全管理のための委員会

安全管理及び医療事故の防止・対策について審議するため、医療安全管理委員会を置く。

### 2 医療安全管理部

医療安全管理委員会が講じた安全対策をリスクマネジャーを通じて速やかに実践徹底させると共に、医療安全管理委員会に安全対策を提言する。

### 3 専任リスクマネジャー

本院全体の医療事故防止及び安全管理の任に当たらせるため、医療安全管理部に専任リスクマネジャーを置く。

### 4 リスクマネジャー

医療安全管理委員会及び医療安全管理部が講じた安全対策等の情報を、各医療現場に浸透させるため、また、各医療現場で発生した医療事故及びインシデントの報告及び医療事故防止に関する問題点等を医療安全管理部及び医療安全管理委員会の審議に反映させるため、各科(部)等にリスクマネジャーを置く。

### 5 安全管理のための職員教育及び研修

医療事故防止手法などの安全管理に関する教育を行うと共に、職員研修を開催する。

### 6 医療事故発生時の対応

医療事故に関する情報は、速やかに、病院長及び医療安全管理部長に連絡し、報告書を提出する。医療安全管理委員会は報告書に基づいて、内容・実状を把握し、対応・改善を協議する。

### 7 安全対策マニュアル

病院関係職員の医療事故防止のため、「安全対策マニュアル」を作成し、周知徹底を図る。なお、状況等により随時見直しを行うものとする。

### 8 医薬品安全管理責任者

本院全体の医薬品の安全使用の任に当たらせるため、薬剤部に医薬品安全管理責任者を置く。

### 9 医療機器安全管理責任者

本院全体の医療機器の安全使用の任に当たらせるため、ME機器管理センターに医療機器安全管理責任者を置く。

### 10 患者相談

患者さんからの医療安全管理に関する相談に対して、誠実に対応する。

### 11 その他

安全管理のための方策を検討し、医療事故防止に努める。  
本指針は、患者さん及びその家族等から閲覧の求めがあった場合には、これに応じるものとする。

## 平成23年度安全管理のための職員研修実施報告

|                     | 実施日               | 対象職員                        | 参加人数 | 時間   | 内容  |
|---------------------|-------------------|-----------------------------|------|------|---|
| 1 卒後臨床研修オリエンテーション   | 3月25日             | 新採用研修医                      | 30名  | 180分 | 講義「本院の患者安全管理体制について」                             |
|                     |                   |                             |      |      | 講師 医療安全管理部 横見瀬部長                                |
|                     |                   |                             |      |      | 講義「インシデントレポートの記載方法と事例分析」                        |
|                     |                   |                             |      |      | 講師 医療安全管理部 豊嶋専任RM                               |
| 2 新採用者オリエンテーション     | 4月4日              | 新採用看護職員                     | 59名  | 45分  | 講義「安全管理」  |
|                     |                   |                             |      |      | 講師 医療安全管理部 豊嶋GRM                                |
| 3 新採用者オリエンテーション     | 4月6、7、8日          | 新採用看護職員                     | 59名  | 240分 | 講義「与薬① 輸液ポンプ・シリンジポンプ」                           |
|                     |                   |                             |      |      | 講師 :看護部教育委員                                     |
| 4 新採用者オリエンテーション     | 4月11、12、13、14、15日 | 新採用看護職員                     | 59名  | 120分 | 講義「与薬② 注射手技」                                    |
|                     |                   |                             |      |      | 講師 :看護部教育委員                                     |
| 5 新採用者オリエンテーション     | 4月19、20日          | 新採用看護職員                     | 59名  | 120分 | 講義「酸素療法・吸引」                                     |
|                     |                   |                             |      |      | 講師 :看護部教育委員                                     |
| 6 新採用者オリエンテーション     | 4月25、26日          | 新採用看護職員                     | 59名  | 60分  | 講義「セントラルモニター・胸部誘導」                              |
|                     |                   |                             |      |      | 講師 :看護部教育委員                                     |
| 7 安全管理研修(講義)        | 5月6日              | 看護職員復帰者・中途採用者               | 8名   | 30分  | 講義「医療の安全に関すること」                                 |
|                     |                   |                             |      |      | 講師 医療安全管理部 豊嶋専任RM                               |
| 8 安全管理研修(第1回異動者研修)  | 5月13日             | 新採用コメディカル職員                 | 8名   | 30分  | 講義「本院の安全管理体制について、インシデントレポートの入力方法」               |
|                     |                   |                             |      |      | 講師 医療安全管理部 豊嶋GRM                                |
| 9 安全管理研修(講義)        | 5月24日             | 全職員                         | 556名 | 60分  | 講義「平成22年度インシデント集計及び安全対策報告、平成22年度感染対策室活動状況報告」    |
|                     | 5月30日～6月3日        | ビデオ上映会                      | 418名 | 60分  | 講師 豊嶋GRM、田中ICN                                  |
| 10 安全管理研修(講義)       | 5月31日             | リスクマネージャー看護職員               | 12名  | 60分  | 講義「インシデント分析手法(RCA演習)」                           |
|                     |                   |                             |      |      | 講師 医療安全管理部 豊嶋専任RM                               |
| 11 安全管理研修(講義)       | 6月1日              | 看護職中途採用者                    | 1名   | 30分  | 講義「医療の安全に関すること」                                 |
|                     |                   |                             |      |      | 講師 医療安全管理部 豊嶋専任RM                               |
| 12 安全管理研修(講義)       | 6月2日              | リスクマネージャー看護職員               | 12名  | 60分  | 講義「インシデント分析手法(RCA演習)」                           |
|                     |                   |                             |      |      | 講師 医療安全管理部 豊嶋専任RM                               |
| 13 安全管理研修(講義)       | 6月17日             | ファーストレベル受講者                 | 33名  | 30分  | 講義「安全管理と情報システム」                                 |
|                     |                   |                             |      |      | 講師 安全管理担当副看護部長 豊嶋専任RM                           |
| 14 安全管理研修(第2回異動者研修) | 6月22日             | 新採用医師(過去に医学部・病院に所属したことが無い者) | 7名   | 30分  | 講義「本院の安全管理体制について、インシデントレポートの入力方法」               |
|                     |                   |                             |      |      | 講師 医療安全管理部長 寛 善行、医療安全管理部 豊嶋GRM                  |
| 15 安全管理研修(講義)       | 6月22日             | 全職員                         | 383名 | 60分  | 講義「要注意薬の取り扱いについて」                               |
|                     |                   |                             |      |      | 講師 日本イーライリリー(株)学術担当者、内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科 井町仁美     |
| 16 安全管理研修(講義)       | 7月8日              | 看護補助者                       | 40名  | 30分  | 講義「本院の安全管理体制と補助者が注意しなければいけない事項」                 |
|                     |                   |                             |      |      | 講師 医療安全管理部 豊嶋専任RM                               |
| 17 安全管理研修(講義)       | 7月14日             | リスクマネージャー                   | 1名   | 30分  | 講義「リスクマネージャー就任時オリエンテーション」                       |
|                     |                   |                             |      |      | 講師 医療安全管理部 豊嶋専任RM                               |
| 18 安全管理研修(講義)       | 7月26日             | 全職員                         | 478名 | 60分  | 講義「AEDの適正使用と心肺蘇生」                               |
|                     |                   |                             |      |      | 講師 株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパンヘルスケア事業部 除細動器部門 鹿志村 健司 |

## (別紙2)

|    | 実施日              | 対象職員            | 参加人数                                       | 時間   | 内容  |   |
|----|------------------|-----------------|--|------|-----|---|
| 19 | 安全管理研修(講義)       | 7月27日           | リスクマネージャー<br>看護職員<br>(救命救急センター)            | 15名  | 60分 | 講義 「インシデント分析手法(RCA演習)」<br>講師 医療安全管理部 豊嶋専任RM   |
| 20 | 安全管理研修(講義)       | 8月11日           | 看護職員                                       | 70名  | 30分 | 講義 「静脈注射研修」<br>講師 医療安全管理部 豊嶋専任RM  |
| 21 | 安全管理研修(講義)       | 9月27日           | 全職員  | 553名 | 90分 | 講義 「チーム医療とは何ですか？何ができるとよいですか？<br>-エビデンスに基づいたチームトレーニング:チームSTEPPS」<br>講師 国立保健医療科学院 種田 憲一郎  |
|    |                  | 10月11～14日       | ビデオ上映会                                     | 377名 | 90分 |   |
| 22 | 安全管理研修(第3回異動者研修) | 11月4日           | 新採用医師<br>(6月22日研修に参加していない者を含む)<br>コメディカル職員 | 31名  | 30分 | 講義 「本院の安全管理体制について、インシデントレポートの入力方法」<br>講師 医療安全管理部長 寛 善行、医療安全管理部 豊嶋GRM  |
|    |                  |                 |  |      |     |   |
| 23 | 安全管理研修(講義)       | 11月15日          | リスクマネージャー                                  | 1名   | 30分 | 講義 「リスクマネージャー就任時オリエンテーション」<br>講師 医療安全管理部 豊嶋専任RM   |
| 24 | 安全管理研修(講義)       | 11月16日          | 看護職中途採用者                                   | 2名   | 30分 | 講義 「医療の安全に関すること」<br>講師 医療安全管理部 豊嶋専任RM   |
| 25 | 安全管理研修(講義)       | 11月22日<br>12月1日 | 医師・看護師・<br>放射線技師                           | 481名 | 60分 | 講義 「医療ガスの取り扱い等について」<br>講師 管理課施設係  |
| 26 | 安全管理研修(講義)       | 11月29日          | 全職員  | 444名 | 60分 | 講義 「①医療機器管理と安全への関わり(輸液ポンプ・シリンジポンプ)」<br>「②アラームを見逃さないための工夫と実践」<br>講師 ①株式会社ムトウテクノス(ME機器管理センター) 牛込 陽一<br>②フクダ電子株式会社 クリティカルケア営業部 松永 哲雄                   |
|    |                  |                 |  |      |     |   |
| 27 | 安全管理研修(講義)       | 12月20日          | 全職員  | 444名 | 60分 | 講義 要注意薬の取り扱いについて<br>「①抗がん剤の安全使用について」<br>「②薬剤部における抗がん剤調製の安全管理について」<br>講師 サノフィアベンティス(株) オンコロジー営業本部 山本 敏之<br>薬剤部製剤室主任 朝倉 正登                            |
|    |                  |                 |  |      |     |   |
| 28 | 安全管理研修(講義)       | 1月19日           | リスクマネージャー                                  | 3名   | 30分 | 講義 「リスクマネージャー就任時オリエンテーション」<br>講師 医療安全管理部 豊嶋専任RM   |
| 29 | 安全管理研修(講義)       | 1月24日           | 全職員  | 525名 | 60分 | 講義 ①医療安全とヒューマンファクターズ(DVD)<br>②適正な輸血療法の実施について<br>③輸血用血液製剤の適正な取り扱いについて<br>講師 ①医療安全管理部長 寛 善行 ・ 専任リスクマネージャー 豊嶋 克美<br>②輸血部 副部長 窪田 良次<br>③看護部 副看護部長 串田 幸子 |
|    |                  |                 |  |      |     |   |
| 30 | 安全管理研修(講義)       | 3月12日           | H23年度新採用者<br>医師・看護師・<br>コメディカル             | 79名  | 60分 | 演習 安全対策を組み込んだSBARTトレーニング<br>講師 医療安全管理部 豊嶋GRM  |
| 31 | 安全管理研修(講義)       | 3月15日           | 全職員  | 443名 | 70分 | 講義 放射線に関する研修<br>講師 放射線部   |
|    |                  |                 |  |      |     |   |

【平成19年7月1日制定】

【平成23年7月1日改定】

## 院内感染対策のための指針

香川大学医学部附属病院は、病院の理念に基づき、感染防止および感染制御の対策に取り組むことで、患者および病院職員に安全で快適な医療環境を提供する。

そのための基本的な考え方を以下に定める。

### 1. 院内感染対策に関する基本的な考え方

院内感染の発生を未然に防ぎ、感染症発生時に拡大を防止するためには、その原因を速やかに特定し、早期に制圧することが重要である。そのため、院内感染防止対策を職員全員が把握し、病院の理念に則った医療が提供できるよう取り組む。

### 2. 院内感染対策の推進のために必要な基本方針

職員は、感染対策マニュアルに沿って、手洗いの徹底、マスク、手袋等の着用など、常に感染予防策の遵守に努める。

職員は、自らが院内感染源とならないよう、定期健康診断を受診し、健康管理に努める。

感染対策マニュアルは、定期的に見直しを行い、病院職員へ周知徹底を図る。

### 3. 院内感染対策のための委員会等の組織に関する基本的事項

香川大学医学部附属病院感染制御委員会規定に基づき、感染制御委員会を設置し、院内感染の調査、感染予防の実施、発生時の措置等に関する審議・決定を行う。

院内感染等の発生防止に関する業務を迅速かつ機能的に実行するために感染対策室を設置する。

### 4. 院内感染対策のための職員研修に関する基本方針

院内感染防止対策の基本的な考え方および防止対策に対する意識の向上を図るために、全病院職員対象の研修会を年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。研修の開催結果を記録し、保存する。

### 5. 院内感染症の発生状況の報告に関する基本方針

耐性菌及び市中感染症等の院内発生に伴う感染拡大を防止するため、感染症発生状況を感染制御委員会及び感染対策室を通じて病院職員に定期的に通知する。また、感染症コントロールシステムにより、随時情報提供を行う。

### 6. 院内感染発生時の対応に関する基本方針

院内感染が発生した部署の病院職員は、直ちに感染対策室へ報告する。感染対策室は、状況および対応を病院長ならびに感染制御委員会に報告する。

感染対策室および発生部署の病院職員は、速やかに発生の原因を究明し、改善策を立案し実施する。

感染対策室は、発生状況および改善策の実施結果について感染制御委員会、電子メールおよび紙媒体を通じて全職員に速やかに周知する。

### 7. 患者等に対する本指針の閲覧に関する基本方針

本指針は、感染対策マニュアルおよびホームページに掲載する。